

に本町も上乘せ助成するものですが、条件に制約があり、増改築は対象外となっています。今後は、県・国の施策を注視しながら、少しでも多くの材が普及するよう努力します。

★各地区に未来・希望基金事業の説明ができていますか。

公民館単位の区長を対象に説明会を実施して、全般的な説明と意見聴取を行い、趣旨や必要性等を理解していただきました。区長会の意見を参考にし、制度の一部見直しも行い、22年度から実施します。

★事業仕分けをどう考えているのか。

18年度から取り組んでいる行政評価システムの2次評価会議で事業仕分けを行います。まだ機能していない状況です。開かれた行政運営を推進するために評価内容を公表し、町民の行政への参画のあり方や、より効果的な業務の方策を検討していきます。

★職員研修、中央との人材交流、指定管理者の人材育成や研修が必要ではないか。

鏡野町人材育成基本方針を策定しており、職員研修を積極的に行っています。国との人材交流は行っておりませんが、必要により岡山県からの職員派遣、県観光連盟や一部事務組合への職員派遣を行っており、専門的な知識を習得し、町行政に活かしています。指定管理者については、適切な管理やサービスの提供が確保されているか、条例・規則・協定書に従い、施設に応じた指導や助言を行います。

★保健師活動について。

基幹的な執務場所を本庁とし、各地区担当が業務日を設定して週1回各振興センターに行き、保健活動を行っています。保健師の資質の向上を図り、情報収集と共有化により、町民が不安を抱くことのないよう、充実した体制を構築します。

★高齢化社会への具体的な施策は。

介護保険サービス体制を整えるに従い、介護保険料を上げざるを得なくなっています。多様化・複雑化する制度に対応するために、地域包括支援センターを設置して、多種多岐にわたる総合相談を受けています。

★中学校統合について、住民の納得できる施策を早急に図るべきでは。

地域での説明会を通して、意見や質問に耳を傾け、お答えをしてきました。これまでの実施方針に沿って、23年度統合を目指します。

★越畑ふるさと村特別村民を招待し、産業・観光の活性化に活かすと良いのでは。

本町を訪れる特別村民の特典として、町内の指定施設の利用料金割引や粗品進呈を行っています。観光パンフレットを送付し、町内

の観光施設や行事等の情報をお知らせして、多くのお越しを期待しています。

★プレミアム商品券の販売で、本人確認をどのようにしたのか。企業や商店の状況、消費拡大、事業者育成、経済活性化の効果は。

商品券購入の際、本人から住所、氏名、年齢、希望購入数を記入してもらい、係員が確認して、代金と引き換えにお渡ししました。6日間で完売しました。第1回目の換金状況は、62店舗、約21,000千円で全体の35.7%です。年末年始を控え、目的効果は十分に達成されるものと考えています。

★農業機械の入札を一括で行ったのはなぜか。

個別に入札を行えば、メーカーにより一部仕様が異なり、小売価格も差異があることから、同等以上の機種で一括入札する方が購入費を低く抑えられる等、総合

的に判断したものです。

★耕作放棄地の解消、町農業機械センターの運営状況、農業機械のリースの考えは。

耕作放棄地の解消に向けて、各種事業を取り入れながら、関係機関と連携します。農業機械センターの運営は、収支は厳しい数字が出ていますが、地域の農業振興に貢献するという意気込みで頑張っています。農業機械のリース業務は、機械の保有台数や農作業期間の集中等課題が多く、実施するのは難しい状況です。

